

(1) 生涯学習に関する市民アンケート報告書

(平成 1 8 年 2 月実施)

豊 川 市 教 育 委 員 会

調査の概要

1 調査の名称

生涯学習に関する市民アンケート

2 調査の目的

本調査は、生涯学習を取り巻く環境の変化に対応した生涯学習推進計画改訂版を策定するにあたり、市民参加の計画策定を進めるため実施したものである。

3 調査対象

豊川市に居住する満 20 歳以上の計 1,200 人（男 600 人、女 600 人）

4 抽出方法

住民基本台帳により、単純無作為抽出

5 調査方法

質問紙による郵送法（配送・回収共）

6 調査期間

平成 18 年 2 月 20 日～3 月 6 日

7 回収結果

回収数は 454 票で、回収率は 37.8%であった。

8 その他

- (1) 平成 13 年実施のアンケートについては、同年 10 月に成人 500 人を対象とし、回収率は 42.0%であった。
- (2) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計は必ずしも 100.0%にならないこともある。また、構成比(%)は回答者数を基数として算出し、複数回答の設問の合計は 100.0%を超える。
- (3) 本報告書の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略掲載している場合がある。

調査の結果

1 回答者のプロフィール

(1) 性別

回答者の性別は「男性」が38.1%、「女性」が56.8%となっており、「女性」の割合が高かった。

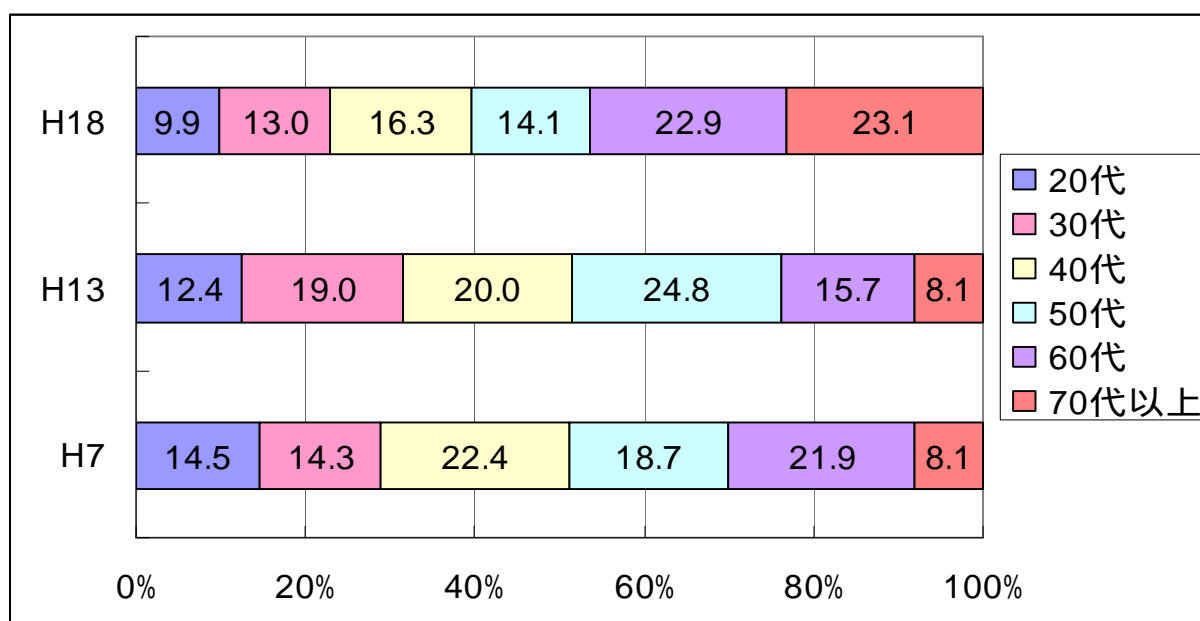
前回（平成13年10月現在のアンケート調査結果をいう。以下同じ。）前々回（平成7年10月現在のアンケート調査結果をいう。以下同じ。）との比較をしてみても、同様の傾向を示している。

区 分		回答者数（人）			
		男性	女性	性別不明	合計
平成18年	人数	173	258	23	454
	比率（%）	38.1	56.8	5.1	100.0
平成13年	人数	75	133	2	210
	比率（%）	35.7	63.3	1.0	100.0
平成7年	人数	164	269	0	433
	比率（%）	37.9	62.1	0.0	100.0

(2) 世代別

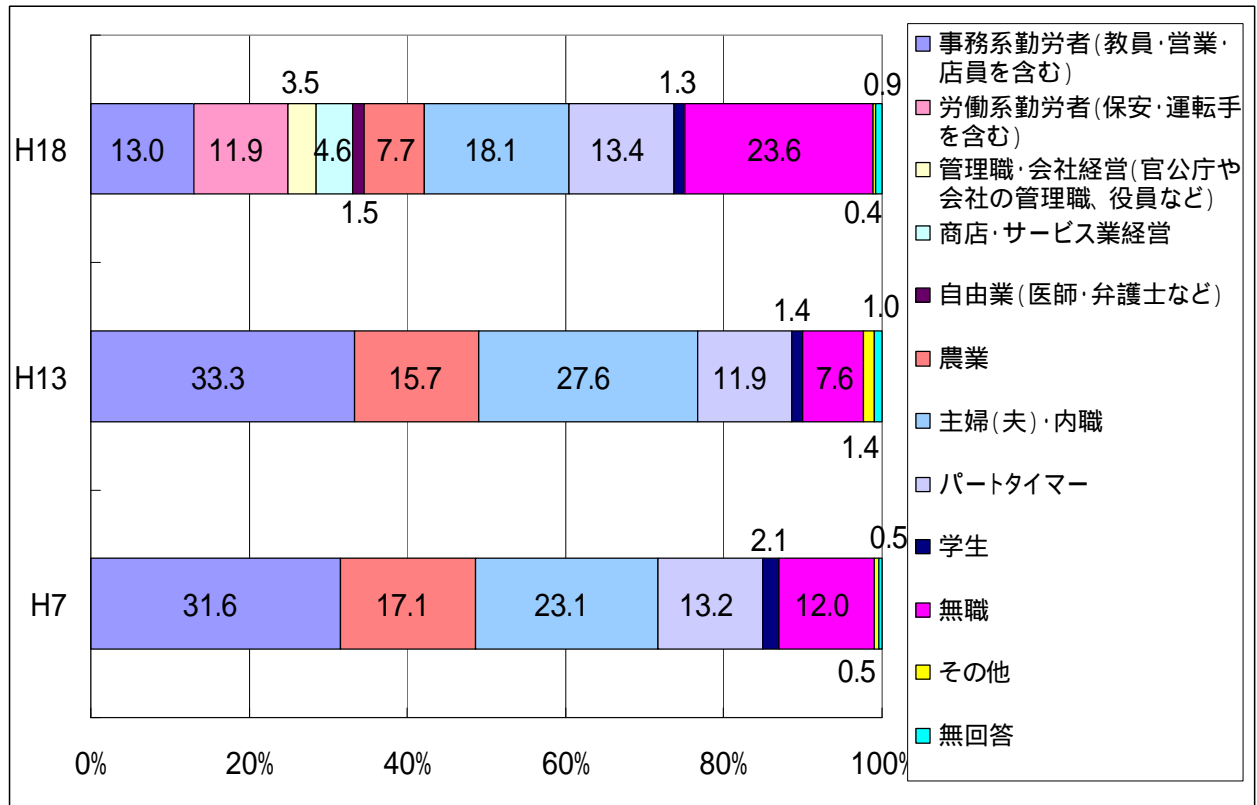
回答者の世代は、「70歳代以上」が23.1%と最も多く、次いで「60歳代」が22.9%、「40歳代」が16.3%、「50歳代」が14.1%の順になっている。

前回、前々回に比べて、「50歳代」以下の世代の回答者が減少し、「60歳代」以上の回答者が増加するといった高齢化傾向にある。



(3) 職業別

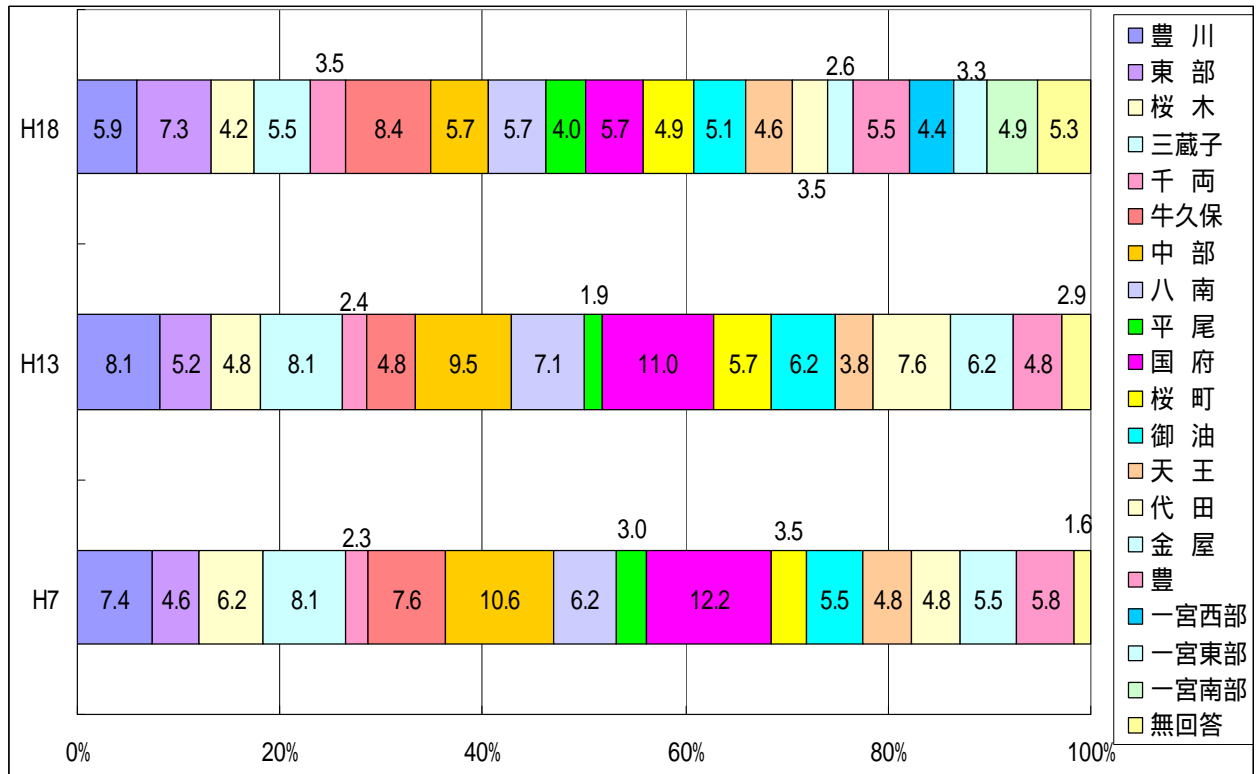
回答者の職業について、今回の調査では、「会社員・公務員」を「事務系勤労者」「労働系勤労者」「管理職・会社経営」に、「農業・自営業等」を「商店・サービス業経営」「自由業（医師・弁護士等）」「農業」に細分化させて、業種がより細かくわかるようになった。全体で「無職」の割合が最も高く、23.6%となっている。次いで、「主婦（夫）・内職」が18.1%、「パートタイマー」が13.4%、「事務系勤労者」が13.0%の順番となっている。



(4) 小学校区別

小学校区別では、「牛久保小学校区」が 8.4%と最も割合が高く、次いで「東部小学校区」が 7.3%、「豊川小学校区」が 5.9%、「中部小学校区」「八南小学校区」「国府小学校区」が 5.7%の順となっている。

前回、前々回と比べて、「国府小学校区」「代田小学校区」「金屋小学校区」が減少しており、「東部小学校区」「牛久保小学校区」「平尾小学校区」は増加となっている。

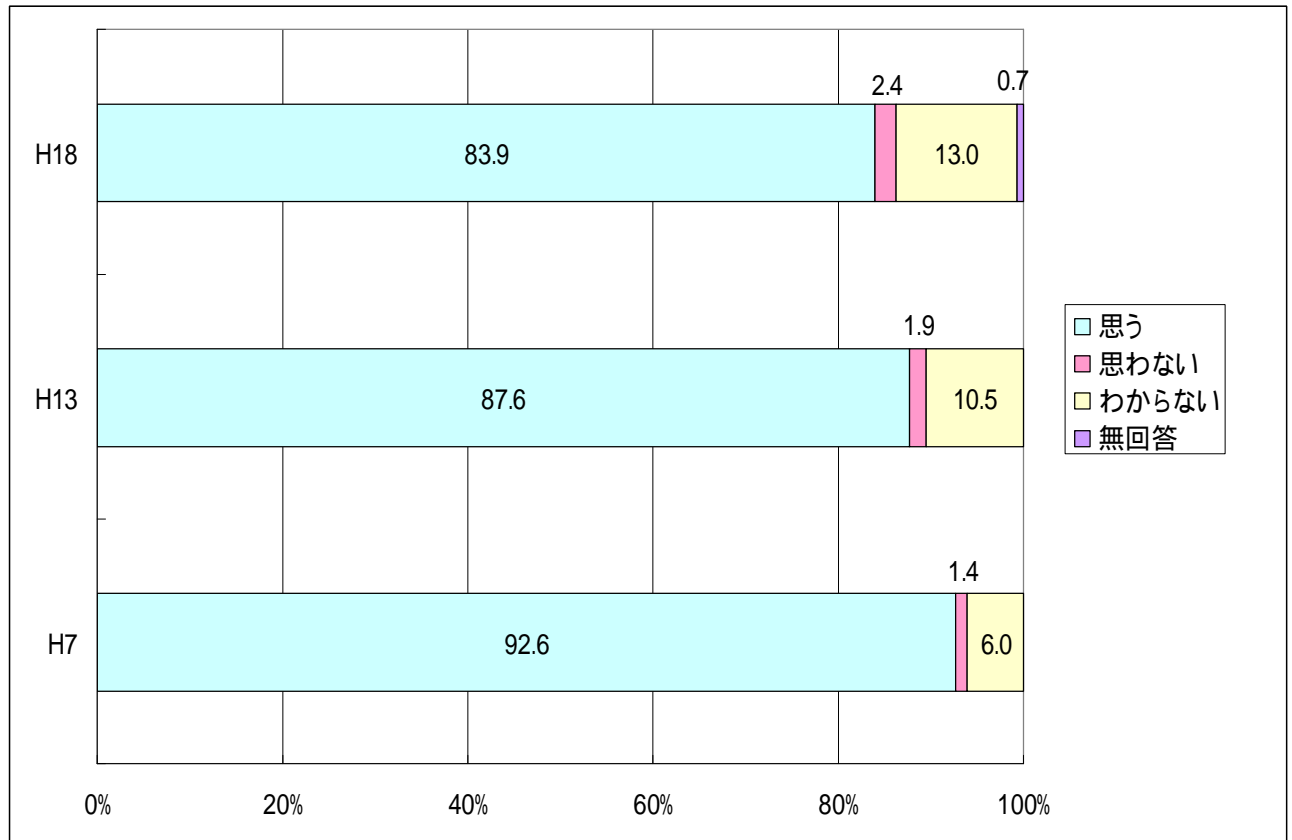


2 生涯学習に対する意識

(1) 生涯学習が大切だと思うか

生涯学習が大切だと「思う」と答えた人は 83.9%と最も割合が高く、「わからない」が 13.0%、「思わない」が 2.4%であった。

前回、前々回に比べ、「思う」と答えた人が徐々に減少し、逆に「わからない」「思わない」と答えた人は増加の傾向にある。



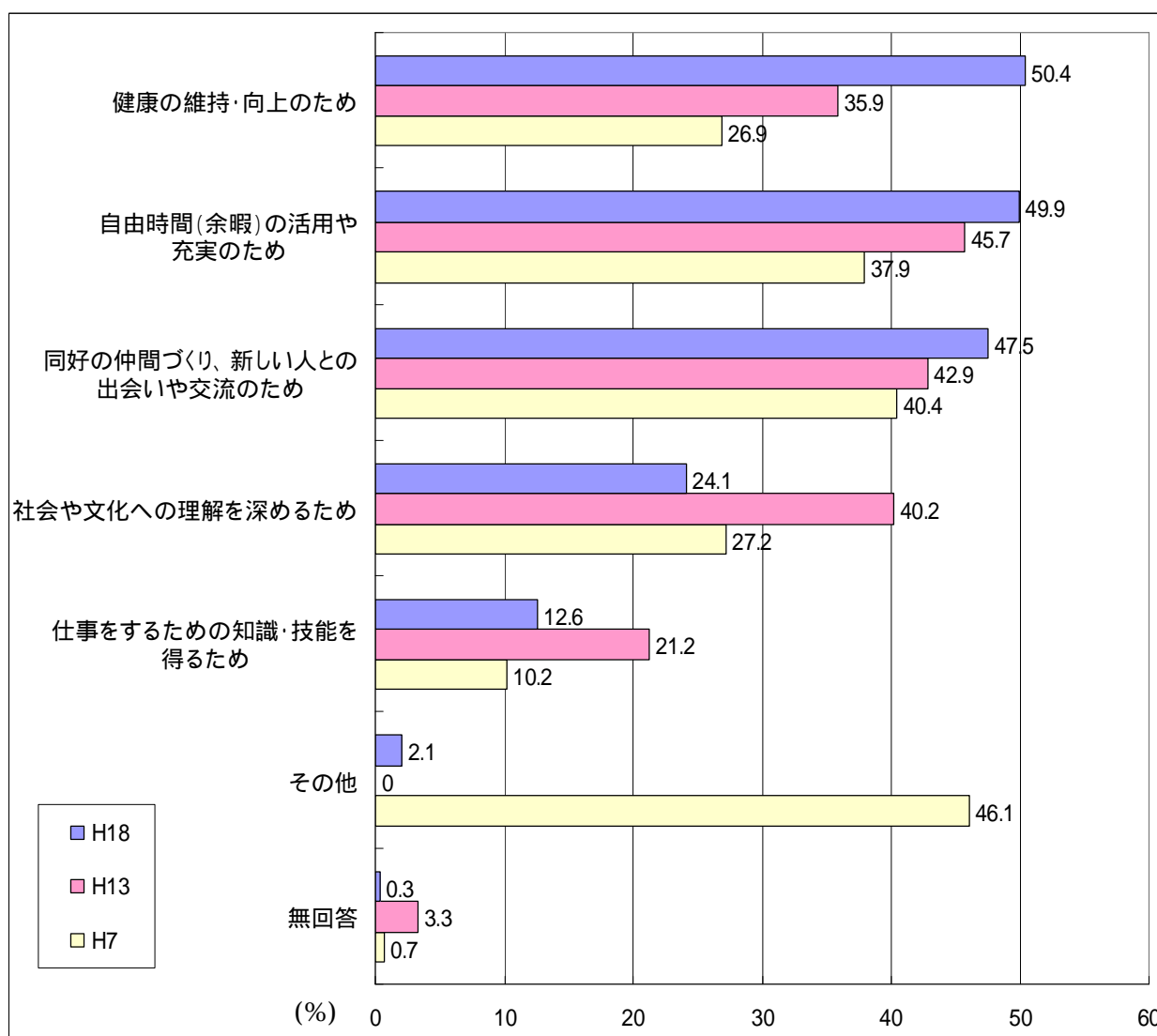
(2) 生涯学習を大切と思う理由

生涯学習が大切だと思うと答えた人に、その理由を最大2項目で選択を求めた。
多い順に上位5項目を挙げると

- 1 健康の維持・向上のため・・・50.4%
- 2 自由時間(余暇)の活用や充実のため・・・49.9%
- 3 同好の仲間づくり、新しい人との出会いや交流のため・・・47.5%
- 4 社会や文化への理解を深めるため・・・24.1%
- 5 仕事をするための知識・技能を得るため・・・12.6%

となっている。

前回と比較すると、「健康の維持・向上のため(50.4%)」が前は4番目であったが、今回は割合が一番高くなっている。その他の順番は前回と同様であった。

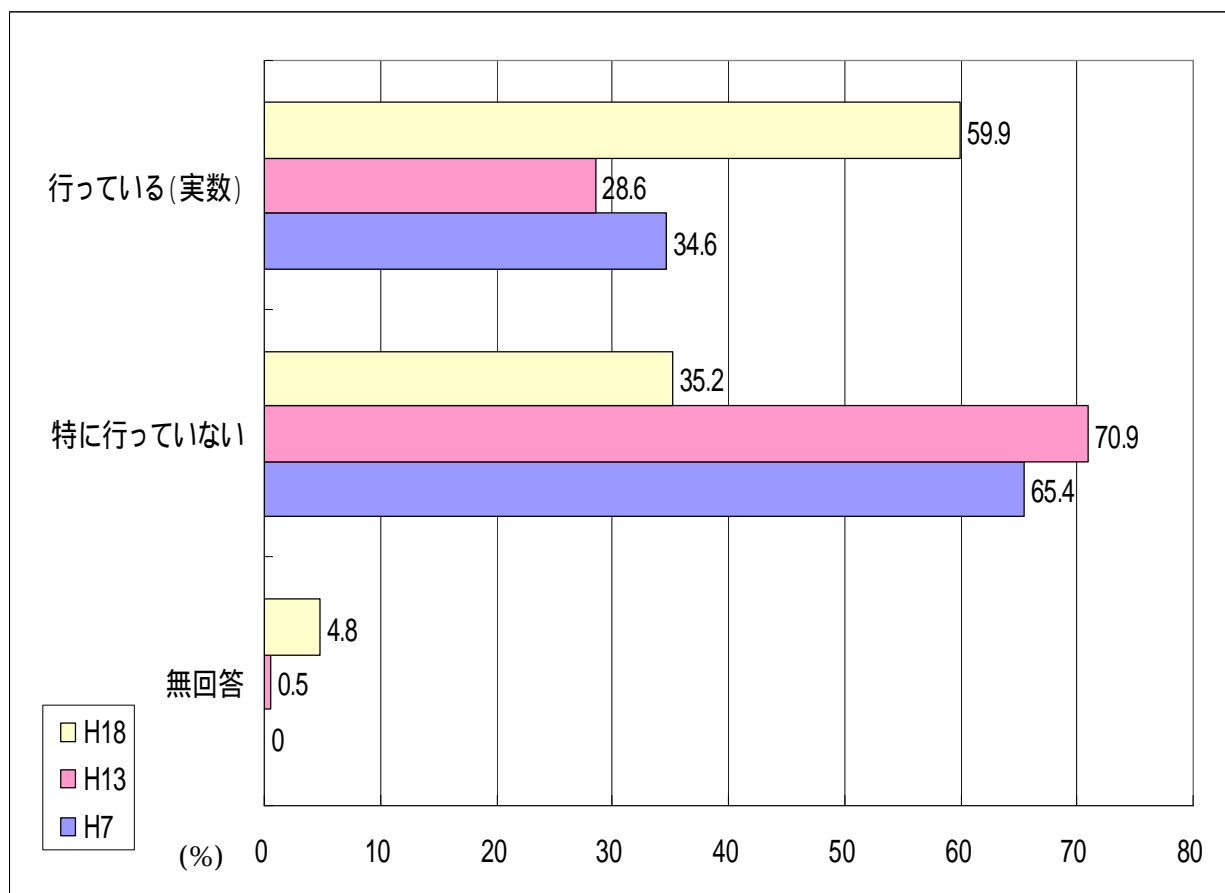


3 生涯学習の現状

(1) 現在、生涯学習活動をしているか

現在、生涯学習と思われる活動をしているかの問いに、「している」と答えた人の割合は59.9%であり、「していない」は35.2%であった。

前回、前々回と比較すると、現在、何らかの生涯学習活動を行っている人が増加傾向にある。



(2) 生涯学習活動の分野

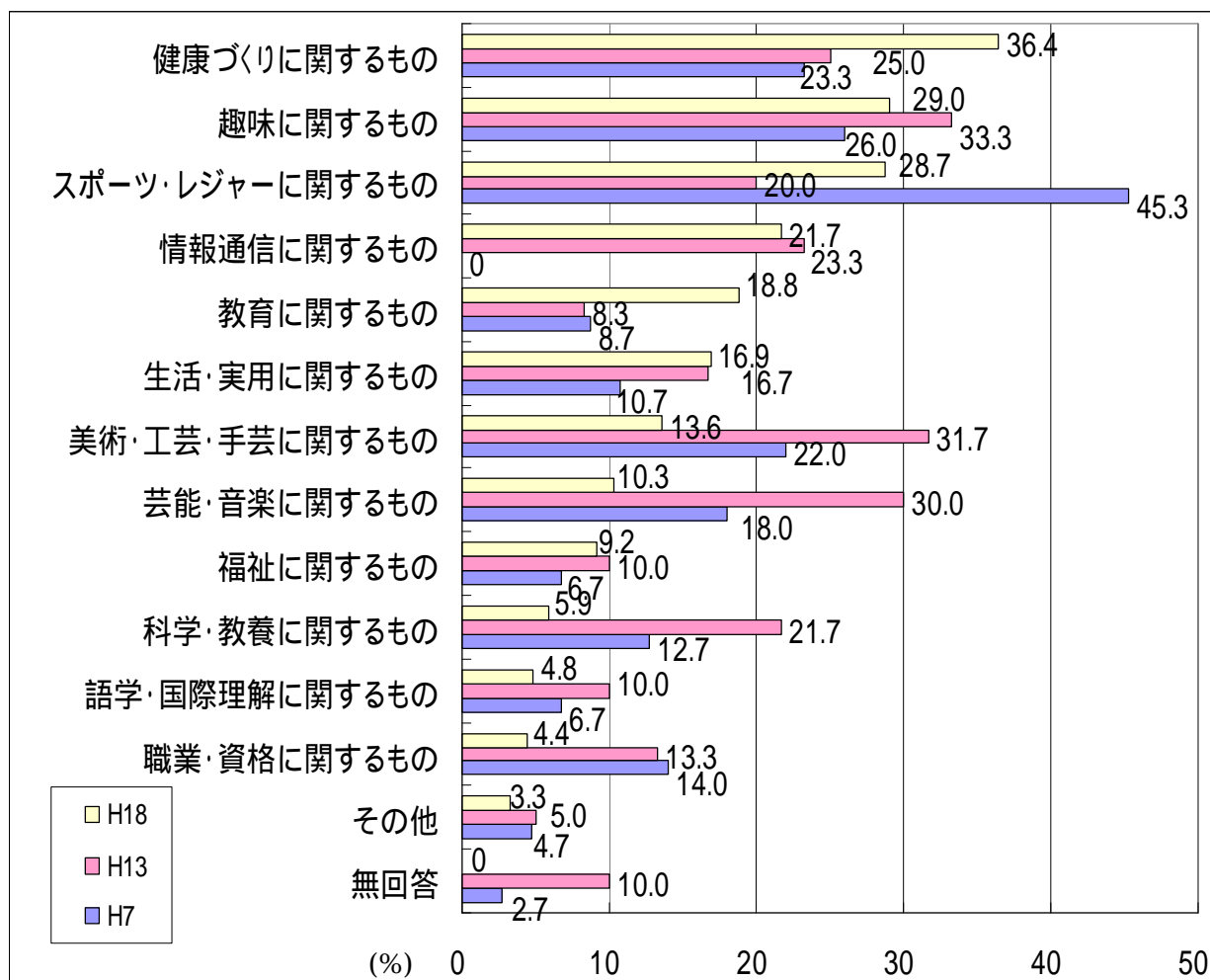
現在、生涯学習活動を「している」と答えた人に、どのような分野に関するものを最大3項目で選択を求めた。

多い順に上位5項目を挙げると、

- 1 健康づくりに関するもの・・・36.4%
- 2 趣味に関するもの・・・29.0%
- 3 スポーツ・レジャーに関するもの・・・28.7%
- 4 情報通信に関するもの・・・21.7%
- 5 教育に関するもの・・・18.8%

となっている。

前回、前々回の結果と比較してみると、「健康づくりに関すること」「趣味に関すること」「教育に関すること」は大幅に増加しているが、「情報通信に関するもの」「美術・工芸・手芸に関するもの」「科学・教養に関するもの」「職業・資格に関するもの」「語学・国際理解に関するもの」が大幅に減少している。



(3) 生涯学習活動の方法

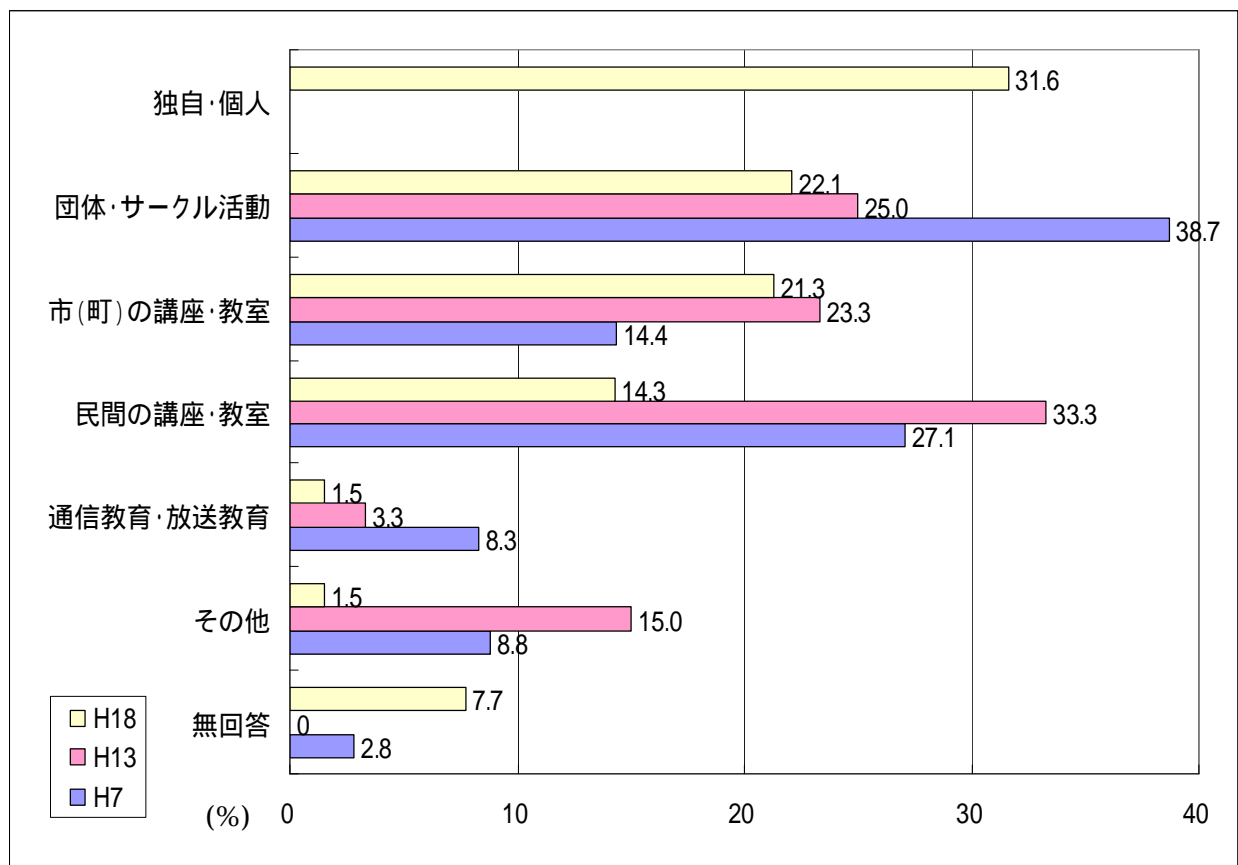
現在、生涯学習活動を「している」と答えた人に、どんな方法での学習活動かをたずねた。

全体的な傾向では、

- 1 独自・個人・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31.6%
- 2 団体・サークル活動・・・・・・・・・・・・・・ 22.1%
- 3 市（町）の講座・教室・・・・・・・・・・・・・・ 21.3%

となっている。

今回、新たに設けられた「独自・個人」と答えた人の割合が最も高く、前回、前々回と比較して「民間の講座・教室」が大幅に減少し、「団体・サークル活動」「通信教育・放送教育」も減少傾向にある。



(4) 生涯学習活動の場所

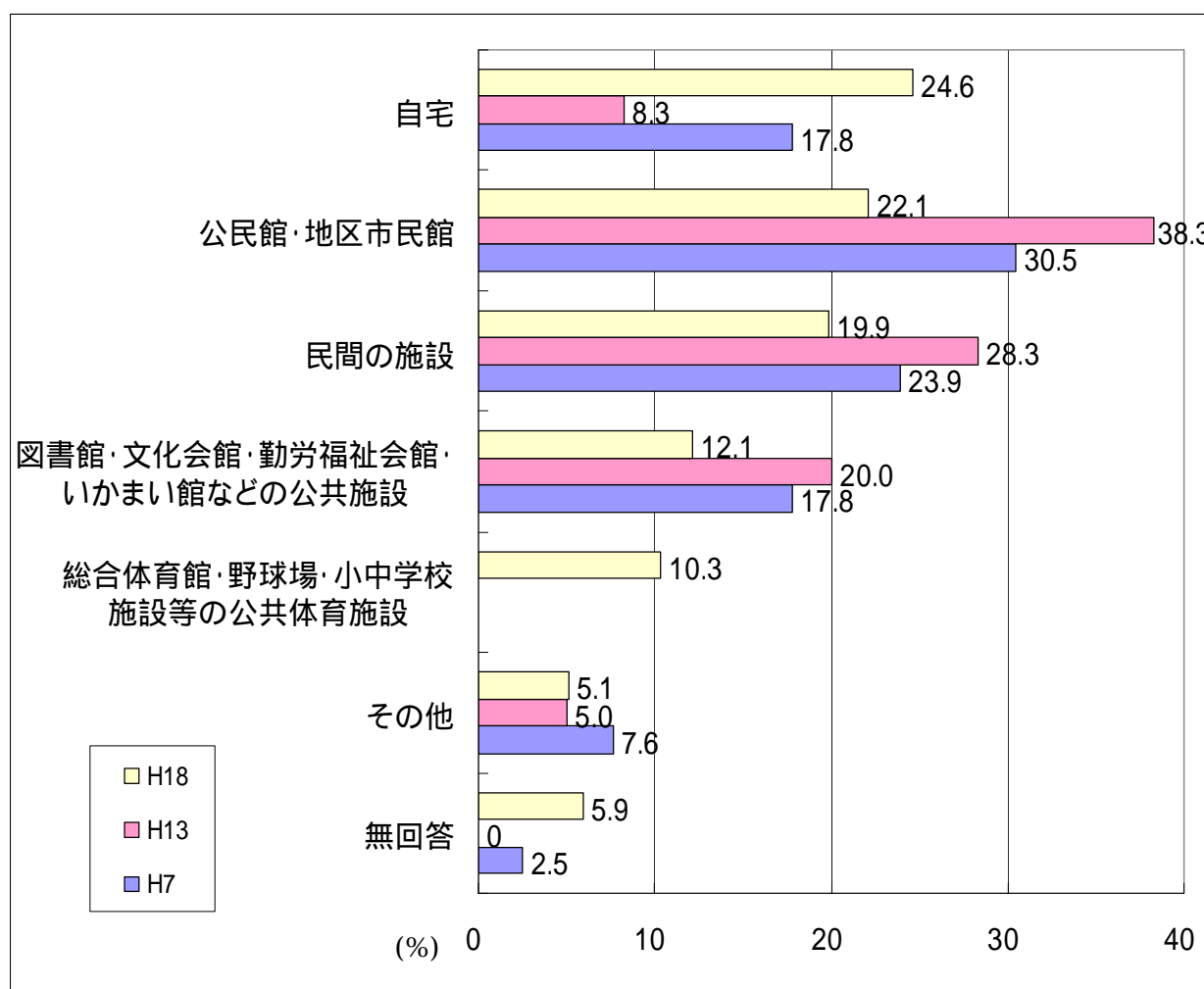
現在、生涯学習活動を「している」と答えた人にどんな場所での学習活動をたずねた。

全体的な傾向として、

- 1 自宅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24.6%
- 2 公民館・地区市民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22.1%
- 3 民間の施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19.9%
- 4 図書館・文化会館・勤労福祉会館・いかまい館などの公共施設・12.1%

となっている。

前回と比較すると、「自宅」で活動している人(20代、30代)の増加傾向、「公民館・地区市民館」で活動している人の減少傾向が著しい。



(5) 生涯学習活動をしていない理由

生涯学習活動を「していない」と答えた人に、その理由を最大2項目で選択を求めた。

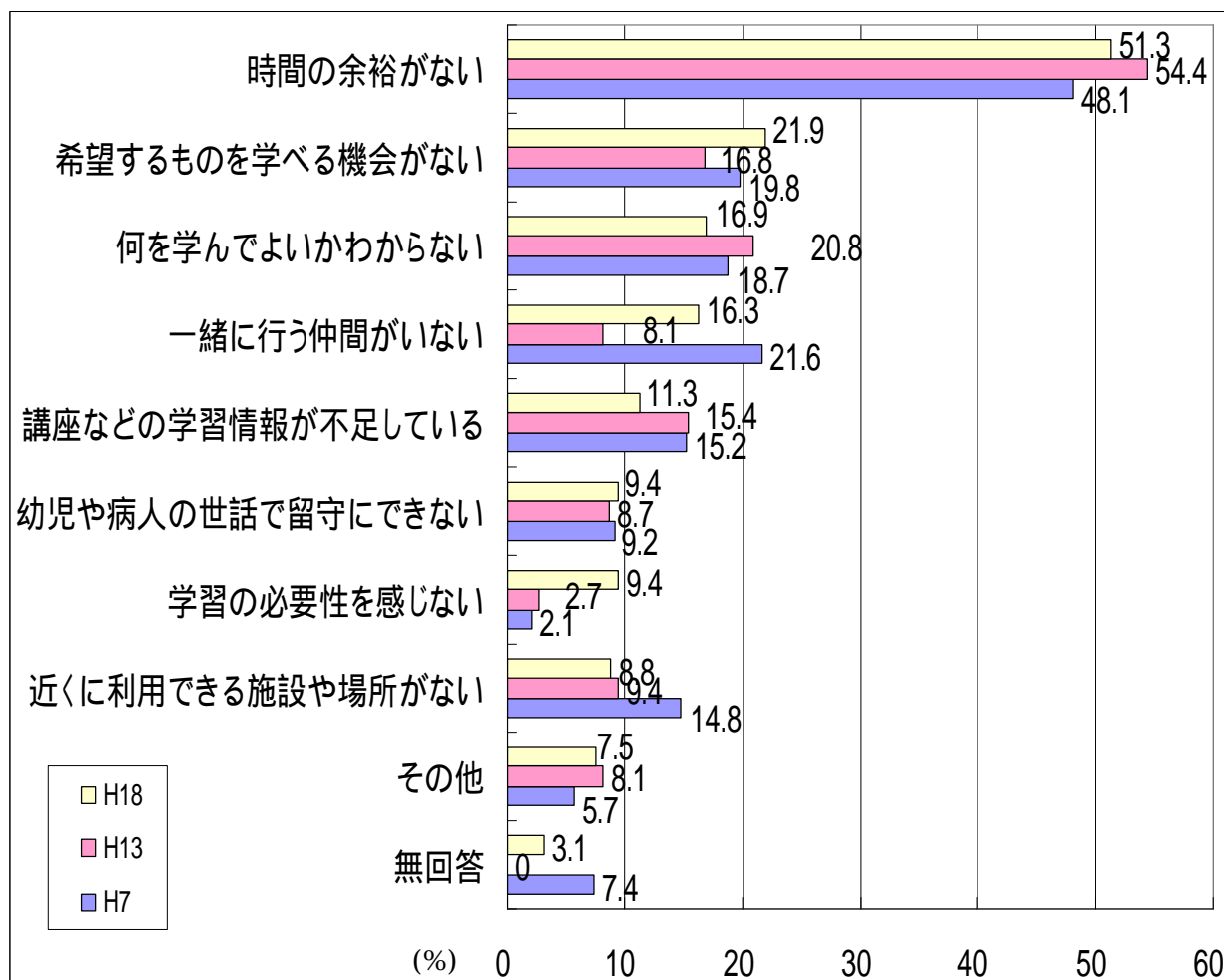
多い順に上位5項目を挙げると、

- 1 時間の余裕がない・・・51.3%
- 2 希望するものを学べる機会がない・・・21.9%
- 3 何を学んでよいかわからない・・・16.9%
- 4 一緒に行く仲間がない・・・16.3%
- 5 講座などの学習情報が不足している・・・11.3%

となっている。

前回、前々回と同様に「時間の余裕がない」が最も割合が高かった。

また、「希望するものを学べる機会がない」「一緒に行く仲間がない」「学習の必要性を感じない」が増加傾向にある。



4 今後の生涯学習への要望

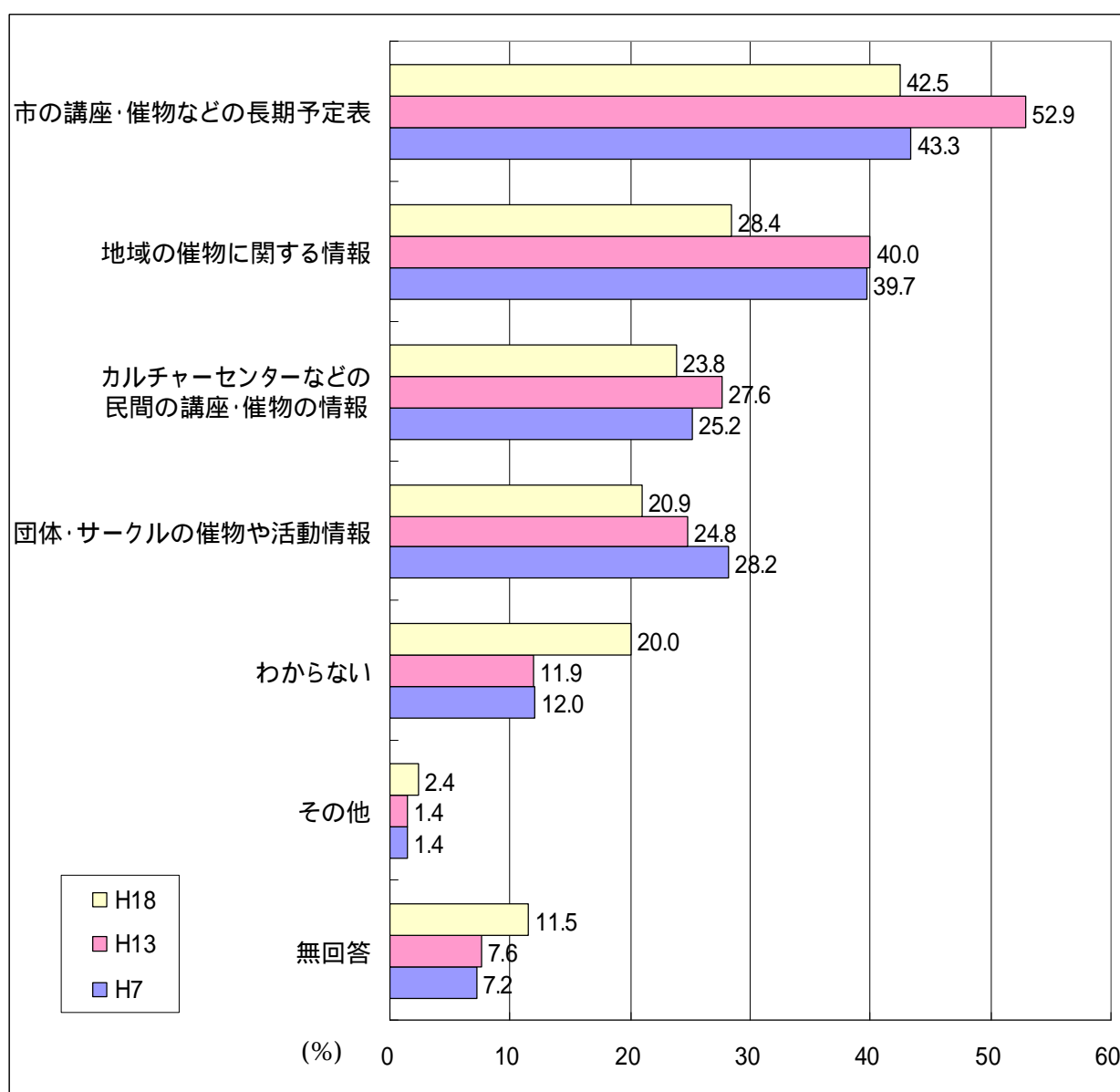
(1) 学習情報の分野

どんな分野の学習情報を望んでいるか、最大2項目で選択を求めた。
多い順に上位4項目を挙げると

- 1 市の講座・催物などの長期予定表・・・・・・・・・・・・・・・・42.5%
- 2 地域の催物に関する情報・・・・・・・・・・・・・・・・28.4%
- 3 カルチャーセンターなどの民間の講座・催物の情報・・23.8%
- 4 団体・サークルの催物や活動情報・・・・・・・・・・・・20.9%

となっている。

前回、前々回とほぼ同様の傾向を示している。



(2) 学習情報を得る方法

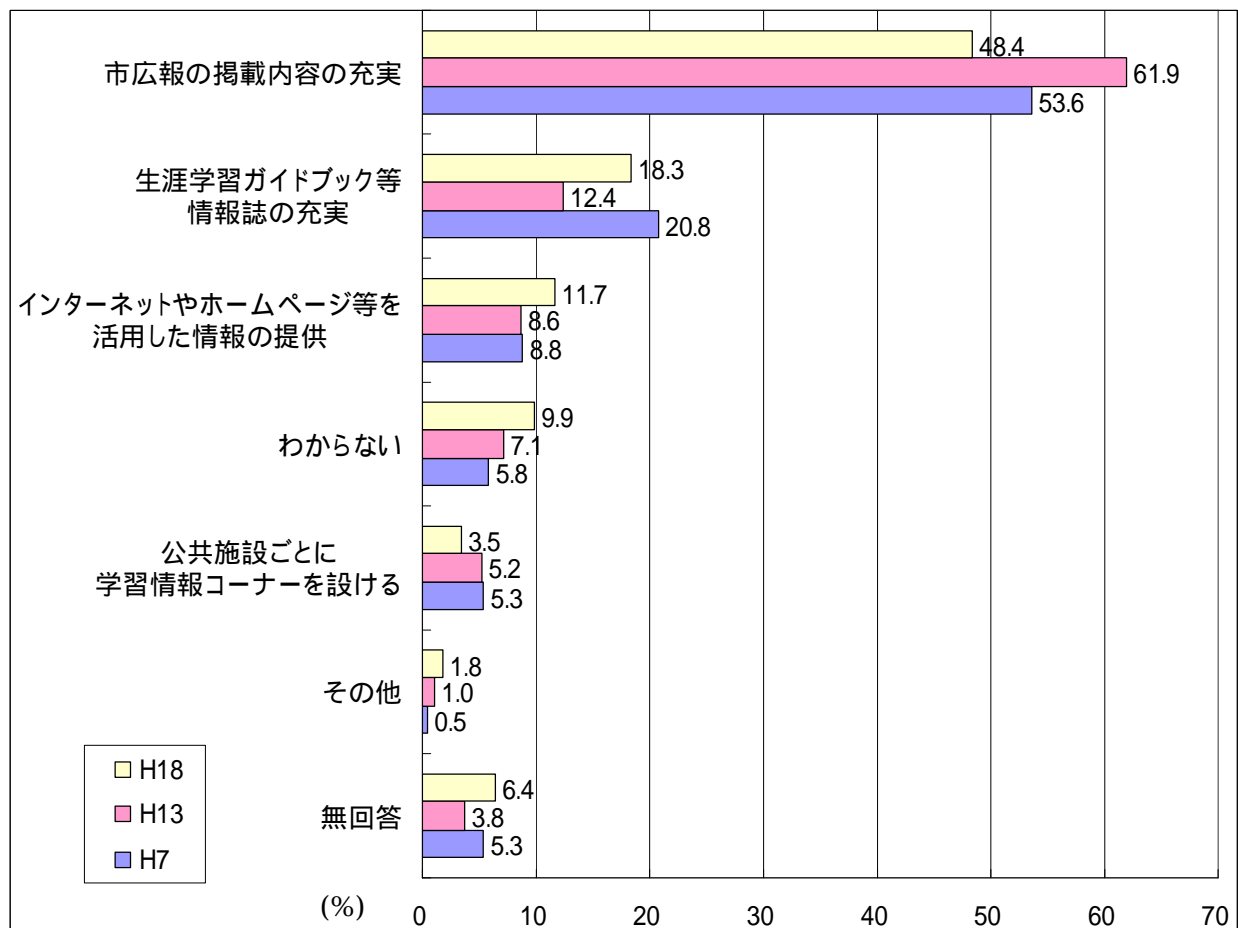
市の生涯学習情報を得る方法としては、何が重要かについて回答を求めた。

全体的な傾向として

- 1 市広報の掲載内容の充実・・・48.4%
- 2 生涯学習ガイドブック等情報誌の充実・・・18.3%
- 3 インターネットやホームページ等を活用した情報の提供・・・11.7%
- 4 わからない・・・9.9%
- 5 公共施設ごとに学習情報コーナーを設ける・・・3.5%

となっている。

前回、前々回と比較すると「市広報の掲載内容の充実」が減少傾向にある反面、「生涯学習ガイドブック等情報誌の充実」「インターネットやホームページ等を活用した情報の提供」が増加傾向にある。



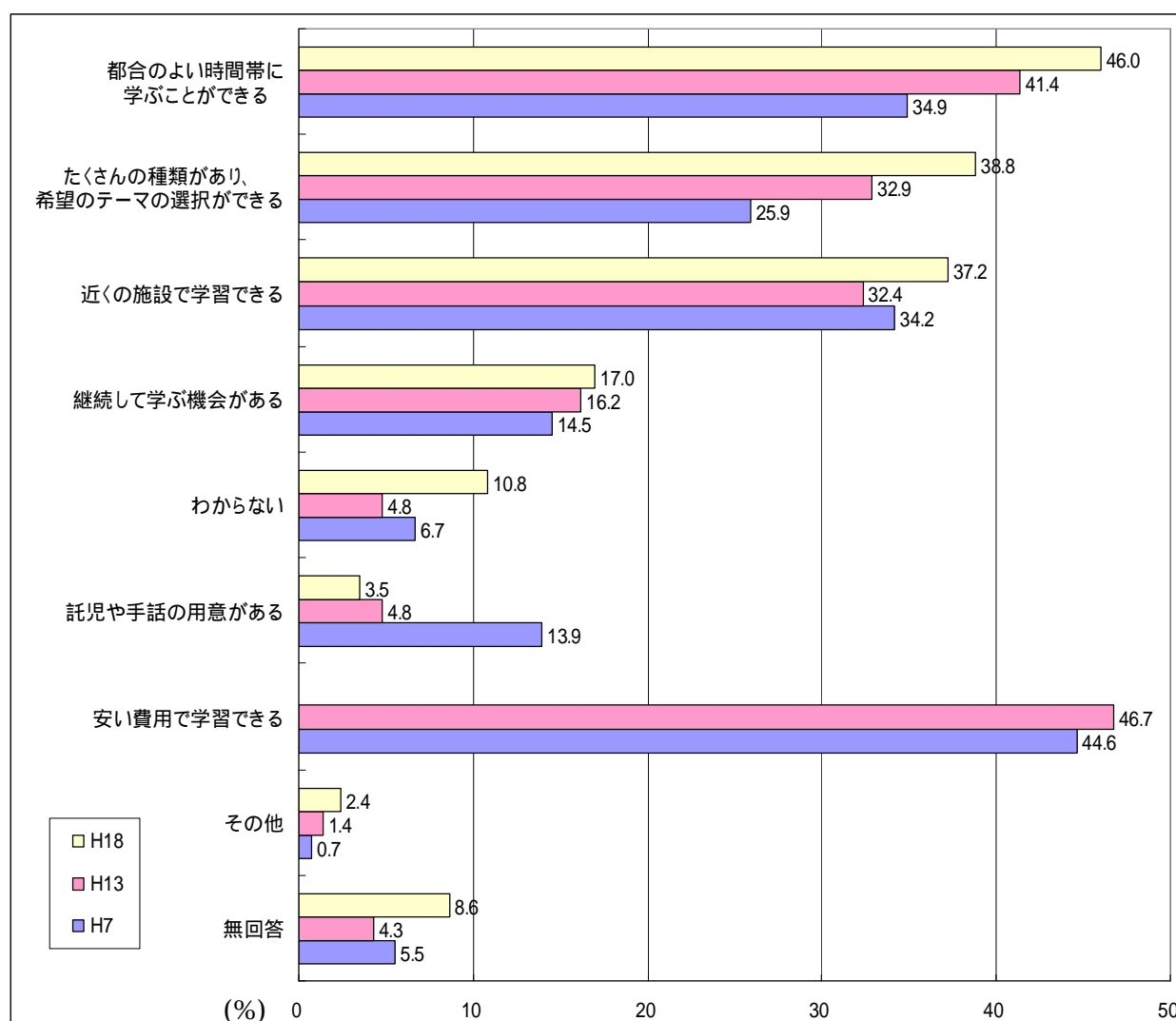
(3) 市の講座・教室の大切な点

市が開催する講座や教室について、大切な点を最大2項目で選択を求めた。
多い順に上位5項目を挙げると

- 1 都合のよい時間帯に学ぶことができる・・・46.0%
- 2 たくさんの種類があり、希望のテーマの選択ができる・・・38.8%
- 3 近くの施設で学習できる・・・37.2%
- 4 継続して学ぶ機会がある・・・17.0%
- 5 わからない・・・10.8%

となっている。

今回の質問では「安い費用で学習できる」を除いたため、全体的に増加しているが、「託児や手話の用意がある」については減少している。



(4) 今後、学びたい学習分野

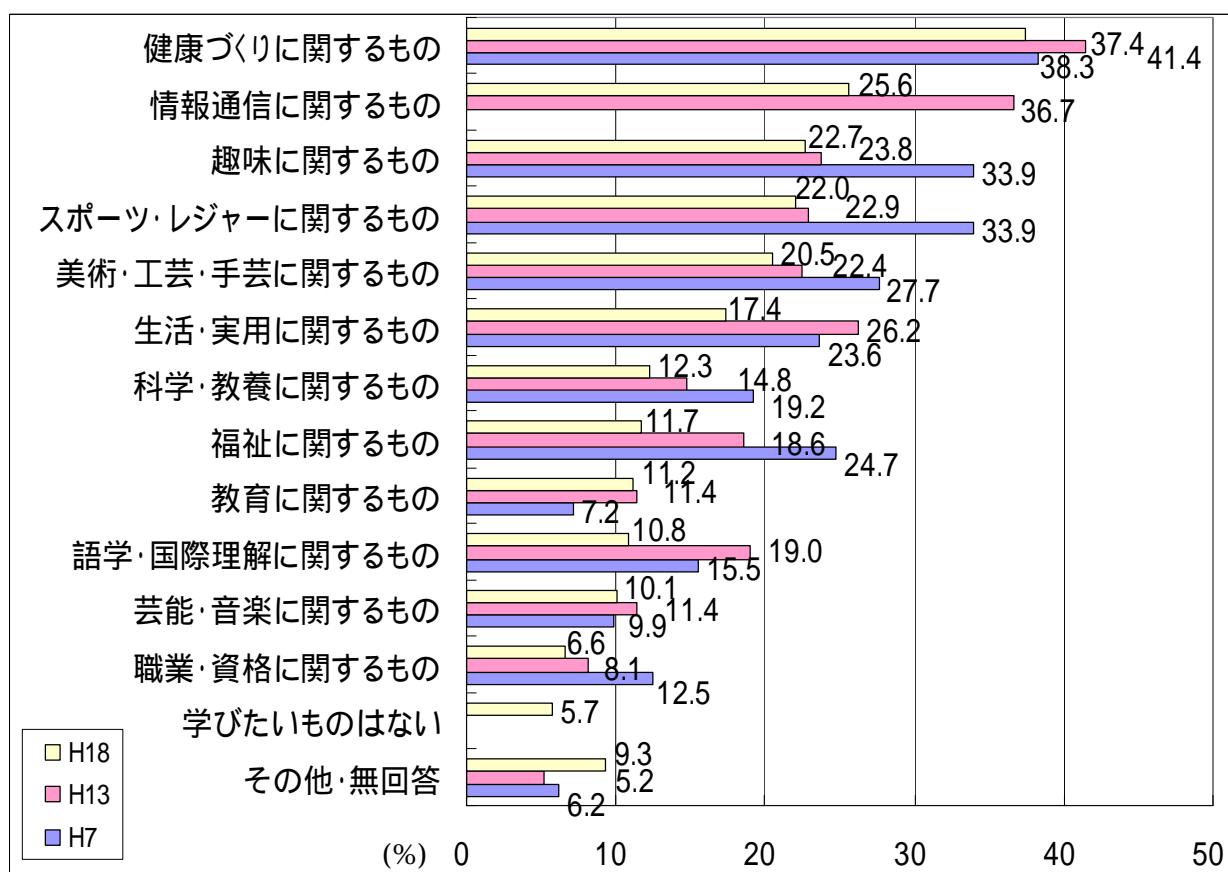
今後、学びたい分野について、最大3項目で選択を求めた。

多い順に上位5項目を挙げると

- 1 健康づくりに関するもの・・・37.4%
- 2 情報通信に関するもの・・・25.6%
- 3 趣味に関するもの・・・22.7%
- 4 スポーツ・レジャーに関するもの・・・22.0%
- 5 美術・工芸・手芸に関するもの・・・20.5%

となっている。

前回と比較してみると、今回新たに設けた「学びたいものはない」を除き、ほぼ同様の傾向を示しているが、「福祉に関するもの」「趣味に関するもの」「生活・実用に関するもの」「語学・国際理解に関するもの」は著しく減少傾向にある。



(5) 学習のための施設の充実

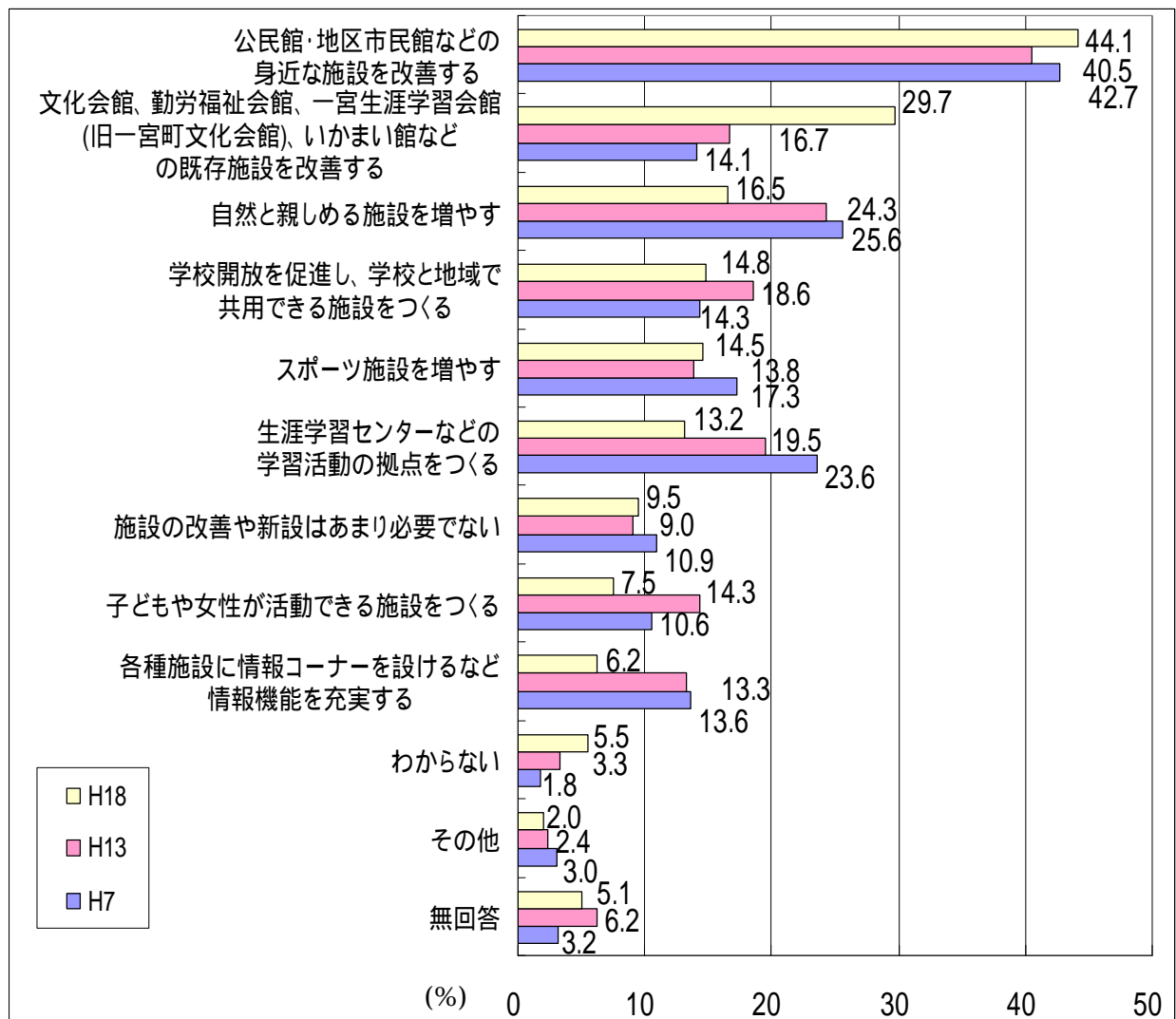
今後、学習のための施設の充実について、最大2項目で選択を求めた。

多い順に上位6項目を挙げると

- 1 公民館、地区市民館などの身近な施設を改善する・・・44.1%
- 2 文化会館、勤労福祉会館、一宮生涯学習会館（旧一宮町文化会館）、いかまい館などの既存施設を改善する・・・29.7%
- 3 自然と親しめる施設を増やす・・・16.5%
- 4 学校開放を促進し、学校と地域で共用できる施設をつくる・14.8%
- 5 スポーツ施設を増やす・・・14.5%
- 6 生涯学習センターなどの学習活動の拠点をつくる・・・13.2%

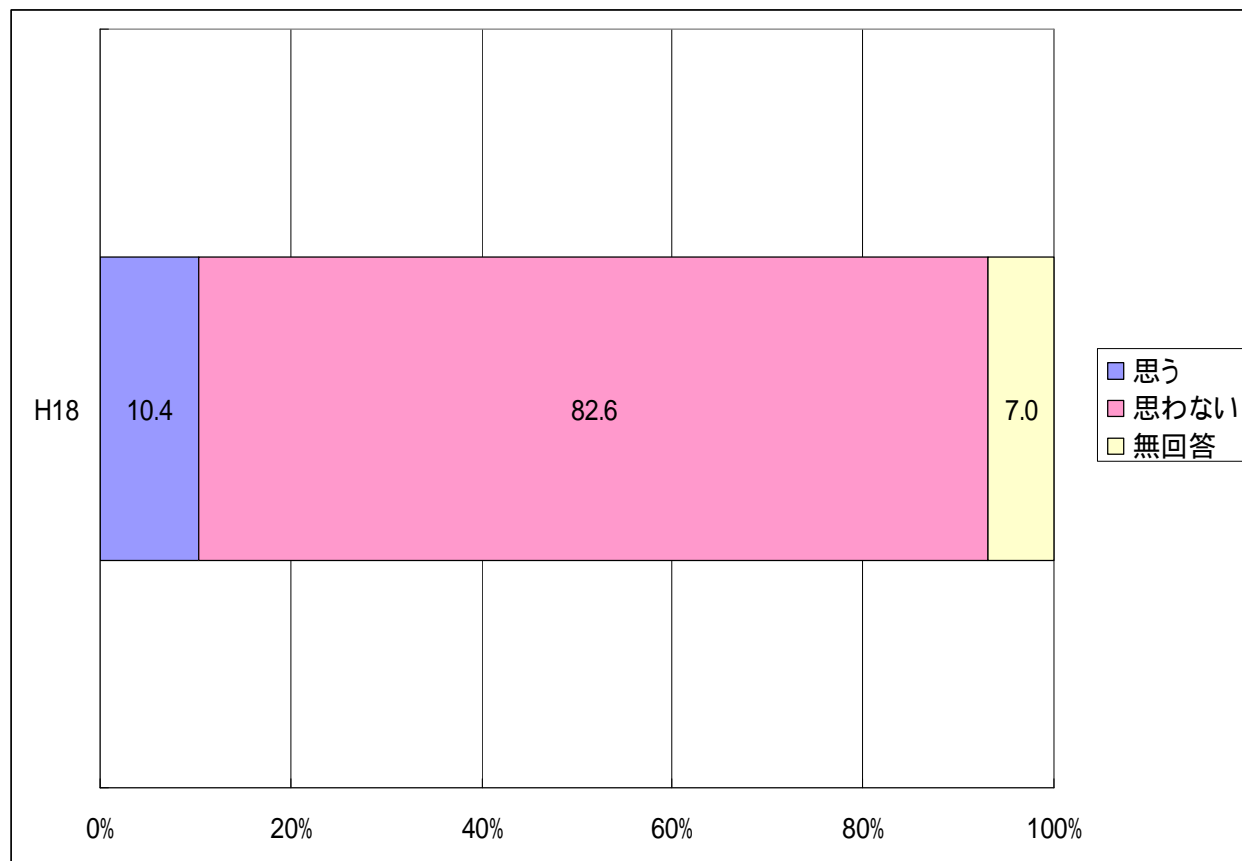
となっている。

「文化会館、勤労福祉会館、一宮生涯学習会館（旧一宮町文化会館）、いかまい館などの既存施設を改善する」が著しく増加傾向にある反面、「子どもや女性が活動できる施設をつくる」「自然と親しめる施設を増やす」「各種施設に情報コーナーを設けるなど情報機能を充実する」は減少傾向にある。



(6) 生涯学習講座の講師・指導等をしてみたいか

今後、知識や技能を生かして、生涯学習講座の講師・指導等をしてみたいかという問いについて、「思わない」と答えた人は 82.6%、「思う」と答えた人は 10.4%であった。



自由意見のまとめ

意見の状況

(人)

区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男	1	1	2	4	14	8	0	30
女	11	11	11	9	21	6	0	69
計	12	12	13	13	35	14	0	99

(歳代)

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
既存施設の改善、スポーツ施設を増やすと共に、軽易に利用できる身近な施設を改善したらよいと思う。	70以上	
私は中高年になりました。健康第一と思い、毎週公民館で卓球をやっております。友達もできて、身体を動かし、よいと思っております。続けたく思っております。	70以上	
現在、卓球をしていて感じている事として 1)小中学生を中心とした学生と社会人との接点が少ない為、スポーツ技術等はもちろん、マナー、礼儀といったものを教わる事が少ない(学生が)。 2)近くの体育館などの施設を借りて部活をやる事が少ないので、活動時間がとれないのではないかと思います。 近くの学校の部活動でコーチを受けてもよいのであれば、ぜひ参加したい。	20	
高校・大学卒の若い者が今は就職難で困っている時、市役所は定年後の天下りを続けているようだが、廃止して若い者のことを考えるべきだと思う。		70以上
現在、市民館を利用してダンスサークル活動をやっているが、狭くて困る。また、駐車場も不十分です。健康維持のため、また、仲間との交流のためのスポーツダンスであり、もう少しスペースが欲しい。インドアスポーツであり運動量には限界がありません。狭いなりの練習はできるが、明るくて健康的な運動量を展開していくには、今の市民館の広さでは消化不良の感がある。	60	

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
<p>いろいろ希望はありますが、たくさん何でもやりたいが、実際にはそれほどできない。スポーツ施設改善の希望をしたが、一緒にやってくれる人をどうやって探せばよいかわからない。何かやりたいことがある人がハガキに書いて申込みをして、もしその講座が開設することになったら返信するというようなサービスがあったらいい。</p>		40
<p>史跡発掘の説明会にはほとんど参加しているので、今後も開催して欲しい。郷土の歴史に興味があるので、何も出なくてもやって欲しい。</p>	60	
<p>現状、いろいろな生涯学習の講座がある様だが、時間が午前中というのが多いと思う。仕事を持っていない方は参加しやすいが、パート勤務が増える中、午後からも学ぶことができると、もっと沢山の方が参加できると思う。無料で学べることはとても魅力的。メイクアップ教室、アロマセラピー等、今時の講座があれば是非参加したい。保険のいろいろを学べる講座もいいと思う。</p>		40
<p>もう少し子どもが自然への関心が深まるようなことをした方がよいと思う。都市化しすぎて土や山などとふれあう機会が少なすぎる。</p>		20 60
<p>親子で参加できるもの。小学校の開放（調理室、体育館）</p>		70 以上 30
<p>平日、休日に関わらず、昼間の明るい時間に講座をして欲しい。</p>	60	
<p>現在は仕事をしているので自由な時間が少なく、定年以降を早いうちから考えて、楽しい時間がすごせるよう考えていきたいと思う。</p>		50
<p>「生涯学習ガイドブック」といものがあるのでしょうか？市の広報に載る情報は子育て中ということもあり、毎回目を通して役立っているが、生涯学習に関してガイドブックというものがあるならば、広く紹介して欲しい。</p>		30
<p>豊川市にもカルチャーセンターがあるとよい。</p>		60
<p>講座や教室を利用しなければ生涯学習ではないということはおかしい。</p>		50
<p>講師を引き受けるレベルにないので、指導できるレベルになったらやってみたい。</p>	50	

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
<p>生涯学習というリタイアした方が余生を有意義に過ごすために勉強というイメージがあるが、子育てが一段落した母親達が学習の場から職業につながるものを見つけ出す機会にもすべき。豊川市では男女共同参画という文字をよく目にしますが、女性が家庭外で活動するための仕組みはお粗末。また、まずはじめに車ありきの公共建物の場所で受講対象世代を狭める要因ともなっているのでは。アンケートもしょっちゅう取っているが結果はどこかで発表されているのか。月日頃、HP上で発表予定等、用紙の末尾に記載されていれば親切。</p>		30
<p>いろいろと問題も多いとは思われますが、頑張ってください。</p>	40	
<p>退職後は町内でボランティアを考えている。</p>	60	
<p>高齢者や主婦(中高年)のためのもののように思える。例えば高齢者は年金や土地、貯蓄など資産も時間の余裕も子育て世代の人と比べたら何倍もあるはず。そんな彼らに市税を使い、市の施設を使い、かつ低料金で「生涯学習」の名のもとにサロン化したお集まり会を催してあげる必要が行政にあるのか改めて見直して欲しい。料金も格安にする必要はないし、その分、本当に参加したい人が参加しやすいルールにしてほしい。行政はボランティアではない。動機付けとルール、あとは調整をしてくれればいい。</p>		40
<p>参加者が負担してもよいので、個にあった講座ができるとよい。</p>	60	
<p>気楽に参加できる環境を望む。</p>		60,40,20
<p>老人スポーツとしてグラウンドゴルフが最もよい。他都市に時々試合に行くと非常に広い広場を持っており、当市に比しうらやましく思う。当市も多目的運動広場を望む。</p>	70以上	
<p>老人会を通して、いろいろ勉強会が開かれます。それを楽しみに近所、隣人の人と行くことが生きがいです。</p>		60
<p>「生涯学習」は必要だと思う。しかし、身近な施設を利用すると、必要以上に生活の中味に立ち入る人が多い。そのため地元でのサークル活動には参加しないことにしている。他の教室には色々参加しているが「近所はうるさいから、遠くてもここがよい」といっている人が多い。高齢化して遠くに行かなくなったら地元に参加することになると思います。</p>		60

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
現在は働かなければならない。意見は浮かばない。	60	60、60
加齢と共に自動車の運転が出来なくなってくるので、近い所で自分流の生涯学習ができれば有難いことであると思う。講師料、資料代などを支払っても充実した講座が持てれば嬉しい。		70以上
健康体操に行っていたが、主人の看病のため行けなくなった。行けるようになったらまた行きたいので、長く続けて欲しい。		60
元気なうちは続けてみよう、始めてみようと思う講座は数々あるが、何せ身は一つ。ともかく大勢で和気あいあいとした雰囲気がい。全ての講座が地域の中で開講できるような場所と指導者と講座があるとよい。	60	50
孫について一言。学校での教育では少々時間が足りないように思える。出来ない子どもはついていけないような気がする。そんな子どもはゲームに熱中してしまい、宿題を済ますと早ゲーム。これでは未来が心配。予習をするのを見たことがないし復習も出来ないと思う。		60
定年退職者、子どもに手がかからない主婦で、ギャンブルや無駄なおしゃべりに興じている人が多い。そういう人たちが無料で楽しめる場所や勉強会があればよいと思う。「生涯学習」というと老人のイメージがあるが、引きこもり、フリーター、心の病気の人など、若者や中年者に職業（職場でなく職種）を紹介したり、いじめ体験を語り合う場所を与えて欲しい。		40
御油地区にスポーツ施設を建てて欲しい。	60	
図書館に行っては本やビデオを借りて勉強している。子どもたちが安心して遊べる場所を増やして欲しい。		60
小中学校等で一緒に授業に参加して学ぶのも楽しいのでは。		40
子育て中の主婦だが、学びたいという意欲はあるので、託児を設けるとか、土日の講座を設けるなど、いろいろな人が「生涯学習」できればよいと思う。魅力ある講師の講演なども期待。		30
病気をする以前は保健センターの講座など、いろいろと利用していたが、自分の体調が悪いと精神的に落ち込んでしまい、出かけるのが億劫になる。		60
学習とボランティアと結ぶといい。		60
市が行う講座を増やして欲しい。		20

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
内容によるが、初級・中級・上級と何年も続けて出来るものにした たい。文化的なもの、レジャー的なものなど、いくつか選べると よい。「愛知シルバーカレッジ」方式の生涯学習講座があったら よい。年間計画を立て、クラスをいくつか作り、毎回違う講座を 楽しみに出来ると思う。		70
高齢者が高齢者の面倒を見る状態で、外出しにくい状態にあり ます。インターネットを使っているので、図書館にどんな本があ るか、ジャンル別にHPに掲載して欲しい。	60	
一宮の一部施設を民間が運営すると聞きました。民間の営利目 的に施設が使われるのですか。平等に使えるように。		30
まずは自分が活動できるように、健康的な身体づくりをし、 人・自然と親しめる気持ちをもてるようにすることが大事だと思 う。		50
「生涯学習」という響きが固く感じられる。もっと身近に感じ られる呼び名で、わかりやすい、参加しやすいイメージづくり を希望。		40
市で語学の講師の登録をして（有料 or ボランティア）サーク ル等の活動団体に紹介して欲しい。		40
三世代で出来る学習活動などがあればよい。	40	
「生涯学習」とは、与えられたものを知ったり、学んだりする だけでなく、調査・研究し、普及する活動全てに共通してとら えたいと思う。時事的な、生活全体にわたって考えること、材 料を集めること、単なる余暇の活用でなく、社会に生き、活動 し、次世代に引き継ぐ、人間としての営みだと思う。	60	
身体が健康で動けるまでは（現在は体調不良で参加できないが 等）、継続的に行っていけるものを学ぶ。やり続けていきたい。	50 60	
大学で生涯学習について学び、社会教育主事の資格を持ってい る。生涯学習に関わることが私の生涯学習だと思うので、行事 の企画・運営・指導に関わっていける場があればよいと思う。		20
高齢化にともない、ボランティア等の充実。		20
それぞれの地区で気軽に参加できることが望ましい。同じ講座 を各地区で行い、半年、一年で交流する。	60	
民間のカルチャーセンターのような講座内容、労働者のための 時間帯も考慮して欲しい。子どもと一緒に参加したい。		40

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
生涯学習で得たものを地域に役立てられたら何よりと思う。		60
若い女性も知識を得ることが大切。若い頃の習い事は楽しく、今は楽しかった思い出になっている。		70 以上
主婦として日常やっていることで手伝いが出来たらと思う。健康づくりには気を配り、参加したいと思う。		60
小学校などの教室を利用するのもいいと思う。		30
市が関与すべきことではない。人と予算を他の部門に移した方が有効ではないか。		60
桜ヶ丘ミュージアムで陶芸の講座を受け、そのまま生徒がグループを作り 10 年間楽しんでいる。ありがたいことだと思う。	70	
仲良しクラブ化して排他的となることがある。上級者は下級者等を排除し益々上級志向するなど。公共設備等を使用する時は考慮して欲しい。	70	
子どもから大人まで楽しく学び、運動できる施設を増やして欲しい。	20	
日常生活の中での時事問題について、専門家の話を聞きたい。		60
生涯学習ガイドブックに載っているものは年配向けが多く、子連れの主婦が参加できるものが見当たらない。もっと若い人が参加しやすいものを企画して欲しい。		30
生涯学習の講師には、その分野に通じているだけでなく、人に「教える」ということにも習熟していることが大切だと思う。以前参加した教室の先生は、その分野で活躍している方ではあったが、前列の二、三人とボソボソと話をしているだけで、休講の時も連絡がないまま待ちぼうけで、失望した。講師は、教える技術をある程度習得した方であることが「生涯学習」の質向上のために必要ではないだろうか。	50	60
高齢者に優遇されている施設があるが、今の社会を支えるべく税金を支払っている若い世代が、税金を支払う価値があると思えるようにして頂きたい。		30
生涯学習活動の中で生きがい(心を豊にするためにも何か楽しめる、喜びとなるもの)を見つけることは大切だと思う。		40
講師の質と内容にもよりますが、現状のような生涯学習の方法では以前より何も変化されておらず、施設が出来たことぐらいの変化である様に思います。		60

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
押しつけでなく、自由に参加できる生涯学習がよい。		70
地域の人間だけで市民館のカギ当番をするのは、都合をつけるのに大変。		50
もう少し年をとったら、もっと興味がわくとは思ふ。		20
情報が簡単に得られるように、沢山のスーパーなどに広報を置いて欲しい。		20
小さな子どもがいても安心して参加できる充実した施設があれば参加したい。		20
身近な場所で出来るよう、地区の集会場をもっと活用すべき。		60
一人ではなかなか参加できないので、仲間と一緒に参加できればよいと思う。		50
パソコン等、情報通信技術の習得について、現在より、より参加しやすいものとする。	70	
やる以上は職員が自ら率先し、団体等に丸投げせず自らも汗と知恵を出してください。	60	
市広報で特集をして、どんな講座があるのか、どのような様子なのかなど、具体的なことがわかるといい。		30
70歳過ぎてからでは、何をやったらよいかわからない。	70以上	
市民館で開催される講座に参加したことがあるが、市民館のある地域の人達ばかりで、よそ者のような目で見られたので2回目から行くのをやめた。もっと小さな規模で集会場でもやって欲しい。グループで参加する人が多く、なかなか打ちとけず、面白味も半減して、段々つまらなくなる。		60
様々な活動（語学、手話など）の募集を見ると、平日・昼間がほとんどで、興味があっても参加することができない。勤めている者でも参加できるような活動の充実をお願いします。		20 30
ボランティアに任せるのは難しいと思う。運営側の参加そのものが自由になりすぎてします、運営そのものの責任が欠けてしまうのではないだろうか。また、講師・指導に任せるのも問題があると思う。講義には、ひまな人、学ぶことを自慢する人、悪用する人などいろいろな人が来るので、本当に学びたい人が集まり、楽しく実行するためにも、講師が一方向的に教えるのではなく、学びあう場が大切であり、人を集めるにも地域をよく知った人が、楽に相談できる人が集めるなど工夫が必要。	30	

「生涯学習」についての意見、感想	男	女
中高年のために深く関与する必要はないのではないか。それより、将来性のある幼児保育や学校教育に使うべきだ。そうしないと日本の未来はない。	70 以上	
他の地区の学習に参加しても良いのかなと思うことはあった。		40
生きるということはモノを考えるとことなので、誰もが生涯学習には少なからず関心があるはず。それぞれの要望をいかに汲み取るかを工夫すべき。	50	
何をやるにもお金がかかる。もう少し低料金でできればよいと思う。料理も土日でもできるコースがあればいい。		50
身近な場所で子どもに指導をしてみたいと思う(木工、パソコン、ソフトボール)。自宅では場所が狭いので、公民館などを開放してもらえれば楽しくできそう。家にこもる子どもが多いので、気軽に参加できる講座があると良いと思う。		30
体操に参加したときはとても楽しかった。回覧板で生涯学習の案内は必ず目を通してしている。時間があればなるべく参加したいと思う。		60
「私のパン教室」についての考えですが、若い母親、年配の方、教室に来ることによって、悩みや相談を皆で分かち合えるようなサークルです。材料費のみでボランティアが目標。そんな教室を作ることが夢。		50
名古屋市には未来を担う子どもたちが、自然に科学へ親しむことのできる生涯学習の場が多い。子どもを連れてくる家族も最新の科学に触れて、家庭が教育に意欲的で、子どもを支える基盤となる雰囲気があります。これは、市民の文化レベルの向上、より豊かな町づくりにおおきな影響を与えている。豊川市は公園も少なく、交通も未発達。近年では宅地整備が進み野原で駆け回る子どもの姿もあまり見受けられなくなった。感性の豊かなうちに自然の見方を学ぶことがよりよい未来にはよいと思う。		20
市民大学は長い間受講した。老人 3 人をおかえ、生涯学習を考える余裕がない。		50
講座の期間を半年くらい続けて欲しい。手芸(編み物)を実現して欲しい。	60	